

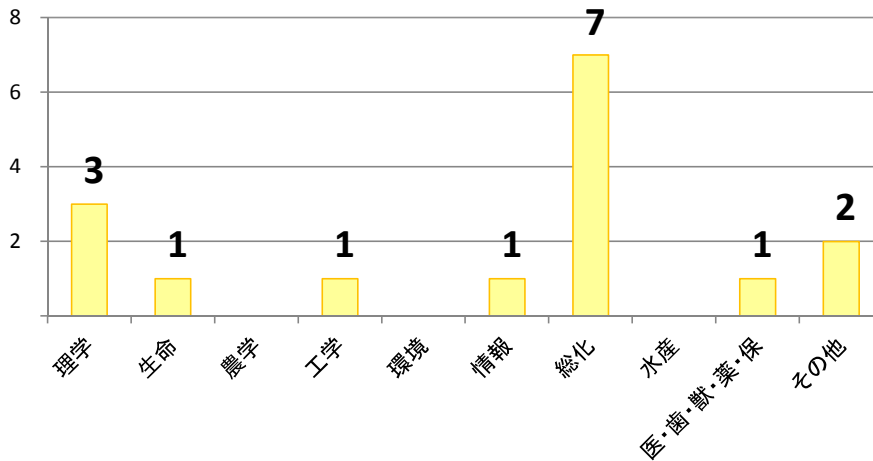
## H26年度 第2回企業研究所視察(道外) アンケート

回答者数: 研究者13名

### [1]所属・学年

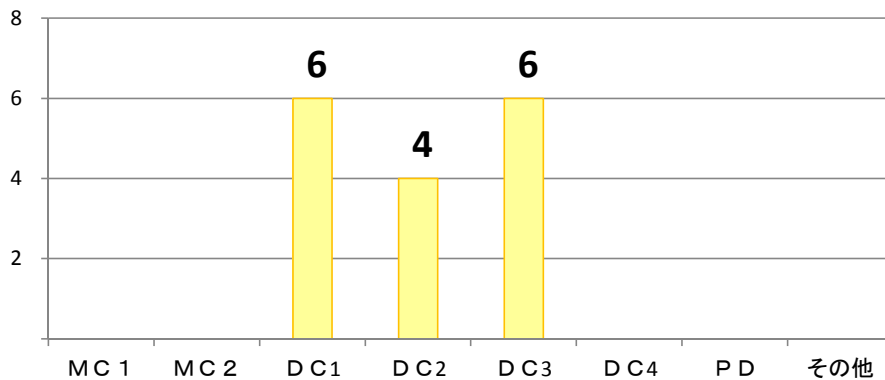
#### (所属)

1. 理学院/理学研究院
2. 生命科学院/先端生命科学研究院
3. 農学院/農学研究院
4. 工学院/工学研究院
5. 環境科学院/地球環境科学研究院
6. 情報科学研究科
7. 総合化学院
8. 水産科学院/水産科学研究院
9. 医学/歯学/獣医学/薬学/保健科学
10. その他(具体的に)

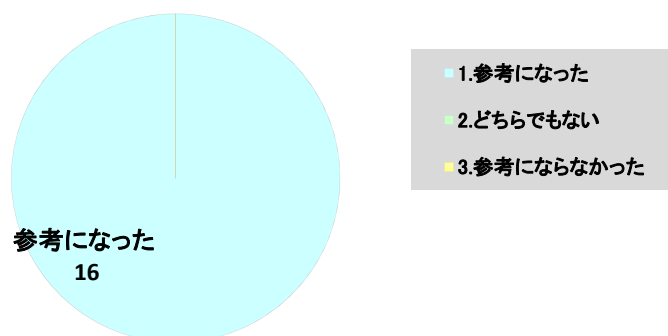


※その他: 文学研究科

#### (学年)



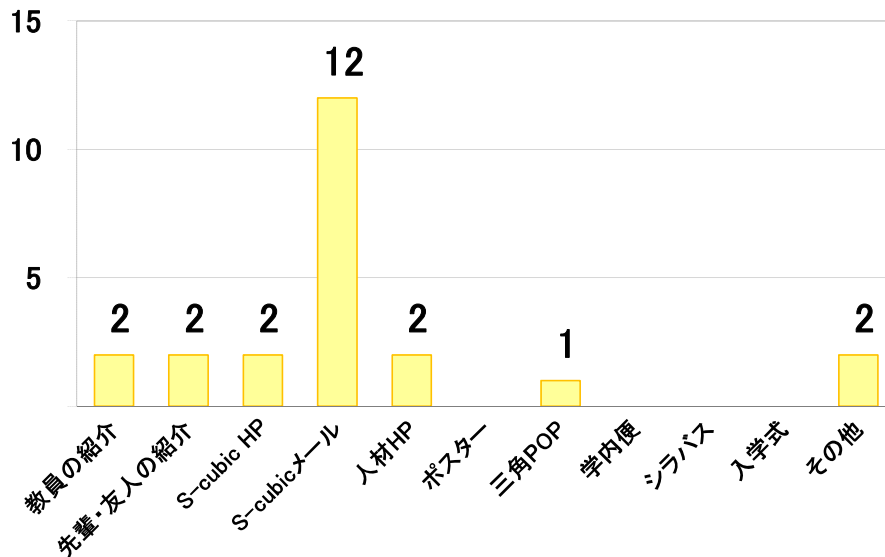
[2] 企業研究所視察は参考になりましたか？



[2-1] 参考になった方:どの点が参考になりましたか？(具体的に)	
1	研究所や工場の見学はほぼ初めてでしたので、実際に商品が作られていく過程や研究室での実験とのスケールの差を改めて知ることが出来ました。また、北大卒の先輩社員とお話を伺うことができ、実際にその会社で働くイメージを固めることができました。
2	企業の具体的な研究内容が分かった。またOB・OGの方の入社の経緯、仕事の概要などを聞いたのは進路の参考になった。
3	民間企業での研究設備や研究体制がどのようにしかれ、最終的にお客様の元に辿り着くまでのプロセスを明らかにすることができた。研究職としてどのように働くのか、具現化することができた。
4	企業の研究者がどのようなモチベーションで研究しているのかがよく理解できた。また、現在までにどういったキャリアを歩んできたかを知ることができ、自分がいかに狭い範囲で就職を考えてきたかを知ることができた。
5	若手研究員の大学での研究と企業での研究について、お話を聴いた点。どのように大学での研究が活かされているのか、また企業での研究に対する姿勢などが見られ、自分の少し先の未来を創造する手助けとなった。
6	企業の研究所を見学することで、どのような研究活動または技術開発を実際に行っているのかが具体的にイメージできた。また、企業においてPDを経験していた、もしくは、博士課程で研究活動を行っていた先輩方が企業を選んだ理由を実際に聞くことができたので今後の自分の進路を選んでいくうえでも非常に参考になった。
7	私は現在DC1で、就職活動を本格的に行なうのは1年後なのですが、今後の進路を決定するために情報収集する目的で今回の研究所視察に参加しました。企業の研究とはどういうものかある程度知ることができ、今後の進路を決定する上で参考になったと思います。
8	製品の研究開発が実際にどのように行われているのかを知る機会は普段なかなかないが、それを直接携わっている方から聞いた点が参考になった。
9	大学の研究室には分からない企業がどのような活動をして博士号取得者がどのように企業に入り現在活躍しているのか知ることができたこと。視野が広がった感じがする。
10	アカデミアと企業の違いをわかることができた。
11	企業で仕事をされている方の志望動機について伺う事ができた点。
12	今までは企業の研究室と言っても想像が出来なかったが、今回の視察で実験施設や会議室、食堂やレクリエーションスペースといった研究所内部を見学させて頂いたことでイメージを固めることが出来た。また、研究・歴史紹介から企業における研究・事業の視点が感じられ、大学研究との差異を認識することが出来た。
13	ライオン: 研究所の施設はもちろん、移動中にすれ違う研究員の方々からも研究所の明るい雰囲気が感じられた点。日本IBM: 疑似対面モニターを使った会議室や、セキュリティ部門の実務の様子を拝見できた点。
14	大学で行われている研究と比較して、企業ではどのような考えで研究が行われているのか知ることができ、参考になった。
15	就職前に企業の本音が聞けた点。
16	直接企業の話が伺えた点。

[3] 企業研究所視察の開催について、どのように知りましたか？(複数回答可)

1. 教員の紹介
2. 先輩・友人の紹介
3. S-cubic HP
4. S-cubicの案内メール
5. 人材育成本部 HP
6. 研究所・学内の展示ポスター
7. 食堂の三角POP
8. 学内便による案内
9. 今年度のシラバスを見て
10. 大学院入学の際のオリエンテーションでの案内
11. その他(具体的に)

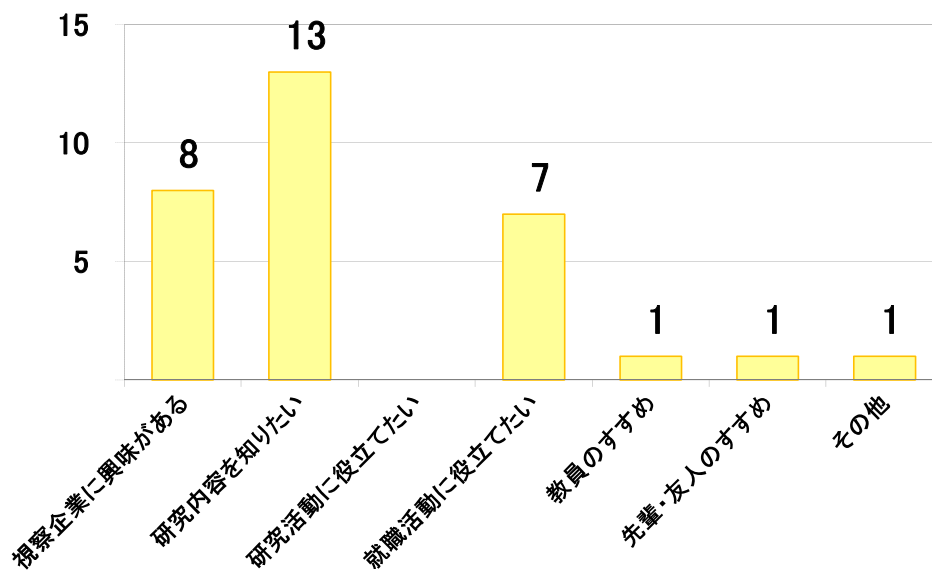


※その他: hi-systemのマイページ

名古屋大学のB-人の河野先生の紹介

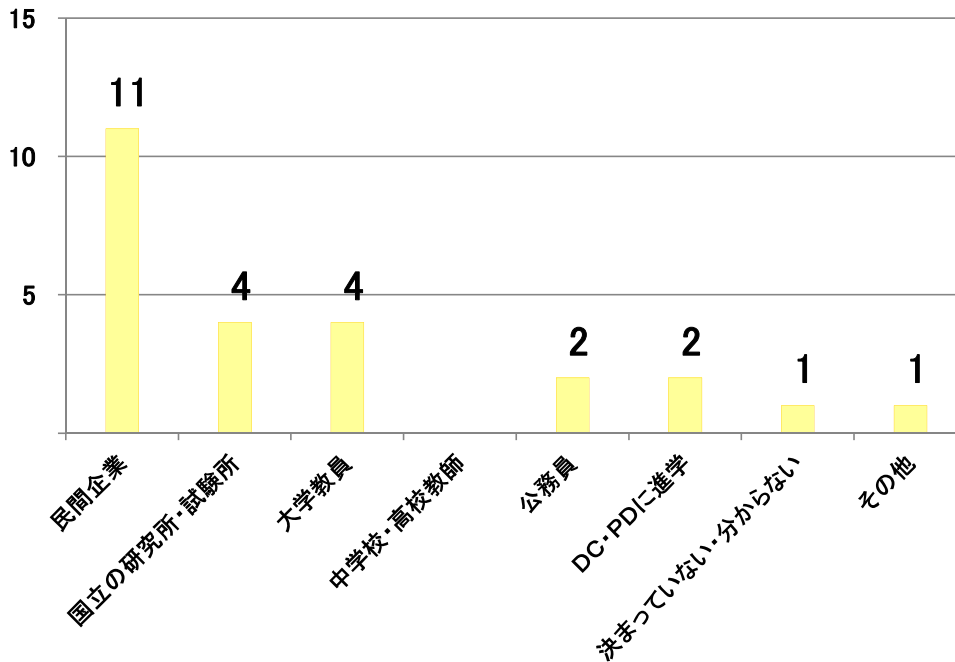
[4] 企業研究所視察への参加理由(複数回答可)

1. 興味のある企業の視察だから
2. 企業の研究内容・実態を知りたいから
3. 自分の研究活動に役立てたいから
4. 就職活動に役立てたいから
5. 教員にすすめられたから
6. 先輩・友人にすすめられたから
7. その他(具体的に)



[5] あなたは、今後の自分のキャリアパスをどのように考えていますか？(複数回答可)

1. 民間企業に就職したい 2. 国立の研究所・試験所に就職したい 3. 大学教員になりたい  
 4. 中学校・高校教師になりたい 5. 公務員になりたい 6. DC・PDに進学したい  
 7. 決まっていない・分からない 8. その他(具体的に)



[6] 今後、企業研究所視察で、視察したい企業の分野(企業/業種)を教えてください。

1	富士フィルム／化学 トヨタ自動車／輸送用機器 プリヂストン／ゴム製品
2	情報系(NECなどインターンシップ受け入れのある場所ならなおよい)
3	化学メーカー・トイレタリーメーカー・化粧品メーカー
4	情報処理を中心に研究を行う企業
5	化粧品(コーセー、ノエビア等)、香料(長谷川香料、高砂香料など)の企業
6	自分は物理系の研究をしているので、新しいデバイスや機械など工学や量子力学が活かせる分野に関する事業開発を行っている企業の研究所に興味があります。
7	今回のIBMのような企業(メーカー)。または情報系の企業。
8	情報・IT関連、製造業
9	食品飲料メーカーや農薬肥料メーカー。
10	情報系ベンチャー企業
11	化学メーカー・食品メーカー
12	製薬、食品、医療器具(パナソニックヘルスケア、帝人など)
13	製薬・化学メーカーを視察したい。
14	化学、水処理
15	石油、エネルギー

[7] 企業研究所視察について、またはS-cubicへのご意見・ご要望など(自由にご記入ください)	
1	今回、たいへん学ぶことが多く非常に良い経験を積ませていただきました。 また、人事担当の方ともコンタクトを取ることができ非常に有意義に過ごすことが出来ました。 是非、今後もこのような機会を続けていってほしいと思います。
2	一般的な企業説明の長時間版の程度を超えないような会社は訪問しても意味がないと感じた。
3	今回訪問させていただいたライオン様は第一志望の企業だったので、このような機会で訪問することができ、有意義な時間が過ごせました。
4	私は東京で開催の第三回赤い糸会にも参加させて頂いたので、一回の出張で赤い糸会にも、研究所視察にも参加できて、本当に貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。また、メーカーやIT系の企業の研究所視察があれば参加したいと思います。
5	東北大学にはないシステムに参加させていただき大変有意義でした。今後様々なシステムを北大、東北大、名古屋大学で共有できるようになることを願います。
6	人材育成部のみなさまのご支援のおかげで、大変貴重な時間になりました。ありがとうございました。
7	赤い糸会の翌日にも関わらず、企業視察の準備・スムーズな誘導をしていただき、誠に有難う御座いました。また今回の赤い糸会と連続した日程は移動日が少なくなるため、大変助かります。
8	企業説明会では分からない研究所内の雰囲気を感じ、大変貴重な経験をすることができました。 オーガナイズして下さった樋口先生・スタッフの皆様、本当にありがとうございました！ …もし可能であれば、遠巻きでも実験室内の様子を見学してみたいです。 実験中のテンポ(慌ただしさ?)が気になり御願ひする次第です。